

報道資料

第 1 回 障がい者スポーツ吹矢競技会 開催

(社)日本スポーツ吹矢協会は、この度、第 1 回 障がい者スポーツ吹矢競技会を開催します。この競技会は、障がいをお持ちの協会員を対象とした初めての公式な大会です。既に協会主催の春秋の全国規模の公式大会で競技の経験者も数名おりますが、今回が初エントリーの方がほとんどで、日頃の練習の成果を発揮していただく場として 50 名が個人戦を競います。

当協会は、設立 11 周年を迎え、昨年 4 月より社団法人の認可を受け新たに公益法人として 1 年半になります。会員数 1 万 4 千人を越え、地域支部は 323 支部となり、「誰でも」「いつでも」「どこでも」手軽にできる生涯スポーツとして、公共団体・カルチャー教室、企業の福利厚生、学校の課外活動など活動の幅を広げています。最近では、障がい者のスポーツとしてリハビリテーションの一環として注目されており、協会では 06 年に、「障がい者サポート部」を設立、本年はさらに「障がい者スポーツ吹矢連絡協議会」を設置し、在籍支部を中心に普及活動や競技会の開催など企画し、今後全国的に展開していく予定です。

また現在、協会には、障がいをお持ちの方で級・段位保持者や公認指導員も在籍しております。

◆第 1 回障がい者スポーツ吹矢競技会 概要

開催日時 ; 平成 20 年 9 月 19 日(金) 午後 1 時開会(正午受付開始)

開催会場 ; 東京・港区スポーツセンター(東京都港区芝浦 3-1-19 JRほか「田町」3 分)

開催内容 ; 【競技会個人戦】 4 ラウンド(1 ラウンド= 5 本)の合計で得点化します
会場内に、無料体験コーナーも設置、障がい者サポート部の指導員のもと、体験していただけます

参加資格 ; ①協会員 ②障がい者手帳交付者、あるいはその対象に準ずる障がいのある方
③介助が必要な方は必ず同席のこと

参加人数 ; 50 名 ※定員に達しておりますので参加募集は締め切りました

後援 ; 文部科学省、港区教育委員会、(財)港区スポーツふれあい文化健康財団

● 最新協会プロフィール、及びスポーツ吹矢については別紙資料をご参照ください



■ この件に関するお問い合わせ先 ■
社団法人日本スポーツ吹矢協会 組織・広報部
TEL: 03-3538-5837 FAX: 03-3538-5836

◆障がい者サポート部の活動状況について

スポーツ吹矢は、「誰でも」できるスポーツです。

全国各地で多くの方が車椅子で練習や競技に取り組んでいます。また車椅子の公認指導員も誕生しました。

協会では、平成 18 年 12 月には【障がい者サポート部】が発足し、3 月より正式に活動をスタート、障がいをお持ちの方が在籍される支部での活動支援をはじめ、障がいのある方を指導する指導員の育成にも力を注いでまいりました。

08 年には「障がい者スポーツ吹矢連絡協議会」を設置し、協会本部と各支部との情報を共有化し、ますますの運動を図っていくため体制強化しております。

また障がい者サポート部では、「リハビリテーション」の一環としての活動と、もう一つの柱として、「介護予防運動」にも取り組み始めております。

介護予防運動とは、「いつまでも自分らしく暮らす」ことを阻害する、足腰の衰えや頭の衰えを予防する運動のことをいいます。病気の予防ではなく、要介護の予防としてこれからの高齢化社会に必要とされ注目を集めている「元気に長生き」の新しい概念です。

【障害者サポート部】 荒井 和子 部長（公認指導員）

<主な取り組み>

関東・甲信越ブロック 平成 18 年「全国脊髄損傷者連合会関東甲信越ブロック第 1 回大会」開催
伊勢崎市(群馬) 平成 18 年度より定期的に障がい者を対象にレッスンを開催
白岡町(埼玉県) 障害者サービスセンターにて、月 2 回開催
所沢市(埼玉県)、横須賀・厚木(以上、神奈川県)ほかでも活動中

※スポーツ吹矢式呼吸法による健康効果に着目し、スポーツ療法として治療に取り組んでいる病院(「八子病院」・福島)もあります。

<「障がい」のひらがな表記の取り扱いについて>

(社)日本スポーツ吹矢協会では、2006 年「障害者サポート部」設立当時は「害」の漢字を用いておりましたが、2008 年より「がい」とひらがな表記を用いております。

なお、団体名などの固有名詞や他の法令や医学用語・学術用語の引用などはその限りではありません。